

聖書は我にかく語りき

聖書は 我に かく語りき

対馬栄逸

モーセ、イザヤ、イエス……
聖書の預言は
本当は何を語ったのか？

聖書の神は
はたして一神か？

隠されていた
輪廻転生の預言

古代イスラエルの
「失われた十支族」は
「どこへ」失われたのか？

3000年の時を超えて今に生きる書物、それが聖書です。
その預言には「私たちの未来」が秘められているのです —— 対馬栄逸

発売日: 2018年3月23日

出版: 和器出版

著者: 対馬 栄逸

ページ: 224

PDF

聖書は時代も、語り手も、主題も、少しずつ異なる多様な物語が、「神」という存在を通し

てひとつにつながった、織物のような書物といえます。

聖書という名前は知っているけれど、書物としては馴染んだことがない——
そんな方のために、聖書はどのようにして出来あがってきたのか、どのような内容から成り
立っているかなど、聖書という書物の輪郭にあたるところからまずお話してみたいと思いま
す。あくまで一般的な説をもと
にした、神を信ずる私の立場からのごく簡単な説明になりますが、聖書をお読みになる際の、
一助となりましたら幸いです

<http://yep.pm/y2mulzsd5/2pNCtHqR5.pdf.rar>